

土壌の異常還元（ワキ）や表層剥離の発生に要注意！ きめ細かな管理で初期生育量を確保しましょう！

山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト本部

【気象の状況】

5月は、晴れて気温が高い日が多くなっています。気象庁の1か月予報(5月19日発表)では、今後も気温は高い見込みです。

◎当面の技術対策

(1) きめ細かな管理で適正生育量を確保！

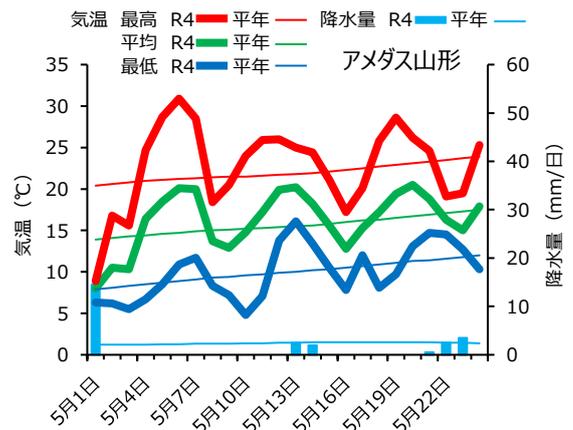
苗の活着が確認されたら、2～3cm程度の浅水で管理します。日中止水、夜間かんがいを徹底し、日中の水温及び地温を高めて、分けつの発生を促進しましょう。

また、ほ場の見回りをこまめに行って、生育状況や雑草防除における残草程度、水深等を確認し、適正な生育となるよう管理しましょう。

(2) 土壌の異常還元（ワキ）や表層剥離には今すぐ対処！

田植えが始まってからは、気温が高い日が多くなっており、田植え時期の早い水田では、すでに、土壌の異常還元（ワキ）が見られはじめています。田んぼに足を踏み入れて、還元の程度を確認しましょう。

ワキや表層剥離が見られた場合は、速やかに水交換を行います。ワキが強い場合は、田干しや夜間落水を行い、根圏環境の改善を図って、分けつの発生を促進しましょう。



土壌還元程度を目安	生育への影響	生育初期の対策
水田に足を踏み込むとわずかに気泡の発生がみられる	なし	—
水田に足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	速やかな水交換
水田に足を踏み込むと盛んに気泡を発生する	根張り不良	田干し、夜間落水

(3) 除草剤の散布前にワキを確認して対策を！

これから一発処理除草剤等を散布するほ場においては、土壌還元の程度を確認し、必要に応じて水交換や夜間落水を行ってから除草剤を散布しましょう。なお、除草剤の散布後は、7日間止水します。また、除草剤はラベルを確認し、使用基準に従って適正に使用しましょう。

STOP!農作業事故 農作業事故防止運動春季強化期間(4/10～6/10)

農作業事故（死亡事故、重大事故）の発生件数が、例年よりも多くなっています。
農作業事故防止のための基本的な対策を再度確認し、徹底しましょう！